

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は30) また、5教材を補助教材として扱っており、本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、学期ごとに1年間の振り返りができるよう工夫している。 切り取り式の心情円やホワイトボードがあり、話し合い活動が円滑に進められる設定がある。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、1年間の振り返りができるよう工夫している。 保護者の方へというページがあり、家庭との連携を図っている。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は30) また、5教材を補助教材として扱っており、本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、学期ごとに1年間の振り返りができるよう工夫している。 次年度の目標を記入し、保護者と教員の記入欄を設け、家庭との連携を図っている。</p>
	別表1			

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は34)ただし、2時間扱いで学習する項目が1教材含まれている。 また、第3学年で内容項目を2つ含む教材が1教材ある。 本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>学習のまとまりを4つの時期に分け、まとまりごとに視点を明確にした学習ができるよう工夫している。</p> <p>本冊の巻末に、付録として学びの記録があり、4シーズンごとに振り返りができるよう工夫している。 各学年の補充教材に学び直し教材として、小学校の定番教材を掲載している。</p>	<p>本冊と別冊「道徳ノート」によって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>別冊「道徳ノート」には、教材ごとに自己評価欄があり、学習の振り返りができるよう工夫している。 巻末には学習の記録がある。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本冊の巻末に「心の四季」のページがあり、心の成長の振り返りができるよう工夫している。3年生は「未来への扉」のページがあり、未来の自分へメッセージを書くことができる。</p>	<p>本冊と別冊「中学生の道徳ノート」によって構成されている。すべての内容項目を扱っている。本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」は、本冊の教材順ではなく、内容項目ごとのページで構成されている。また、本編の内容に沿った補助資料がある。 それぞれの内容項目のまとめ、巻末に、学習の記録がある。 「心のしおり」というシートがあり、自己評価ができるよう工夫している。</p>	<p>本冊は、本編のみによって構成されている。すべての内容項目を扱っている。(教材数は37) 本冊で35時間学習できる。</p> <p>本編に、読み物とコラムを合わせて学習できるまとまりの設定がある。</p> <p>本編は、4つの視点の順で構成されている。</p> <p>本冊の巻末には、内容項目ごとに自己評価欄があり、学習の振り返りができるよう工夫している。</p>

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(2) 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫	教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに「考えてみよう」のコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫を取り入れている。 巻末にはホワイトボード用のマーカーでみんなで意見を書き込めるシートが盛り込まれており多面的な意見を考えられる工夫がある。	教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに「心の扉」のコーナーを設定している。そこでは、チェックを入れる質問や自由に意見を書き込む欄など様々な表現方法で考えを深めさせる工夫を取り入れている。	教材の冒頭部分に、学習のめあてを質問形式で明記している。 教材ごとに「学びの道しるべ」のコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫を取り入れている。

別表3

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに「学びのテーマ」のコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫を取り入れている。また「つなげよう」のコーナーでは他教科へのつながりを促すよう工夫している。	教材の冒頭部分に、学習のめあてを明記している。 教材ごとに発問が設定してあり、考えを深めさせる工夫を取り入れている。 別冊「道徳ノート」に、自分を見つめ考えたことや友達の意見を書き込めるよう工夫している。	教材の冒頭に、学習のめあては明記されていない。 教材ごとに発問を一つ設定している。また、「深めよう」「クローズアップ」などのコーナーを設定して、考えを深めさせる工夫を取り入れている。	教材の冒頭に、学習のめあては明記されていないが、各教材に学習の手がかりとしてめあてが明記されている。 教材ごとに「考える・話し合う」コーナーが設定されており考えを深めるよう工夫している。 別冊「中学生の道徳ノート」では内容項目ごとにどの教材が関連づくのかがわかるようにしてある。	教材の冒頭に、学習のめあては明記されていない。 教材ごとに「考える、話し合ってみよう。そして、ふかめよう」コーナーが設定してあり考えを深めるよう工夫している。

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<p>「考えてみよう」で考える視点を示している。いくつかの教材では、直接設問を書き込みながら考えを深める工夫がある。</p> <p>「いじめ」等に関する資料では考えたりグループで話しあったりする問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>巻頭に「話し合いの手引き」や「司会カード」をつけ、話し合いを進めやすくする工夫がある。また、役割演技や対話など様々な体験的学習を設定している。</p> <p>心情円盤や、ホワイトボードを付録として付けるなど自己表現の工夫がある。</p> <p>学期ごとに切り取れる「今の自分をふり返ろう」を掲載している。</p>	<p>「学びに向かうために」や「心の扉」のコーナーの中で、自分の生活に立ち返り、自分とのつながりの中で考えさせる工夫がある。</p> <p>「いじめ」等に関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>巻頭にサイコロトークで話す練習をさせ、毎時間の意見交換につなげている。</p> <p>学期ごとに「学びの記録」で振り返りを設定している。</p>	<p>「学びの道しるべ」で考え方の方向性を示し、自分とのつながりの中で考えさせている。</p> <p>「いじめ」等に関する資料では考えたりグループで話し合ったりする問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>巻末に「学びを記録しよう」(1年分)と「次年度の抱負」を書く欄を設定している。</p>
	別表4			

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>「学びのテーマ」で考え方の方向性を示している。また、自分の気づきや意見を直接書き込む欄を設けている。</p> <p>「情報モラル」や「いじめ」などに関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>4つのシーズンといくつかのユニットで構成している。また、他教科との関連を明示したり、関連する本の紹介をしたりする工夫がある。</p> <p>巻末に、切り取れる1年間の振り返りシートを掲載している。</p>	<p>「考えてみよう」で考え方の視点を示し、「自分に+1」で自分に引き寄せ考えさせている。</p> <p>「いじめ」や人間関係に関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>「学習の進め方」として、体験的学習の進め方を写真入りで説明している。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>別冊「道徳ノート」で毎時間の振り返りと、巻末に印象に残った学習の振り返りを設定している。</p>	<p>教材のあとに、考える視点を示している。また、巻頭にプロフィールを書く欄を設定している。</p> <p>「いじめ」「人権」に関する資料について個人で考えたりグループで話し合ったりして問題解決的な学習を取り扱っている。また、いくつかの教材をまとめてユニット化し、考えを深める工夫がある。</p> <p>話し合いや、役割演技などの体験的学習活動を設定している。</p> <p>コラムで自分を振り返り、自己肯定感を高める工夫がある。</p> <p>巻末に、自分の成長の振り返りを設定している。</p>	<p>「学習の手がかり」に考える方向性を示している。また別冊ノートの巻頭でプロフィールを書く欄を設定している。</p> <p>「情報モラル」や「いじめ」などに関する資料では、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合いや調べる学習・役割演技などの体験的学習を設定している。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」には、内容項目についての考え方を示している。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」で、内容項目ごとのまとめと、自分の振り返りを設定している。また巻末に1年間の振り返りを設定している。</p>	<p>「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」で考え方の方向性を示している。</p> <p>「いじめ」「人権」に関する資料では、個人で考えたり話し合ったりして、問題解決的な学習を取り扱っている。</p> <p>話し合い、リフレミングや錯視の体験などの体験的学習を設定している。</p> <p>巻末に「心の成長」の振り返りと「道徳の時間」の振り返りを設定している。</p>

教科・種目名 特別の教科 道徳

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	11 学図	17 教出
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(5) 他の教科等との関連	教材名の下に丸囲みで関連する教科等を明示している。 「テーマで振り返ろう」の項で、教材が6つのテーマに分類されている。	他教科との関連に關しての明示はない。 目次の項で、教材名の下にイラストにより大切な10のポイントが分類されている。 また、各教材の冒頭にも同様のマークがある。	他教科との関連に關しての明示はない。 各学年の「道徳が始まる」の項で、テーマごとに教材が分類されている。
	別表6			

発行者名				
38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
巻末の項で、教材ごとに他教科等との関連を一覧表として明示している。 「テーマ別教材一覧」の項で、7つのテーマごとに教材が分類されている。	巻末の項で、教材ごとに他教科等との関連を一覧表として明示している。 「この教科書で学ぶテーマ」の項で、11のテーマごとに教材が分類されている。	巻末の項で、教材ごとに他教科等との関連を一覧表として明示している。 巻末の欄外に「国語や数学など、道徳の学び全体に関連する教科・領域もあります。」という注釈がある。 「様々なテーマで学ぼう」の項で、6つのテーマごとに教材が分類されている。	他教科との関連に關しての明示はない。	他教科との関連に關しての明示はない。

